



# 学校便り 琢磨

令和3年度 第12号 R3.7.13 三豊市立詫間小学校

— 1学期最終号 —

## 自治会別児童会

7月7日（水）。朝の時間に、自治会別児童会がありました。今年度は、朝の活動の時間を利用して行いました。例年なら、5校時に自治会別児童会を行い、そのまま集団下校となるのですが、新型コロナウイルス感染拡大防止と熱中症予防のため、集団下校を取り止めたので、このような形での実施となりました。



上級生が、1年生を教室までお迎えに来てくれました。そして、それぞれの自治会ごとに夏休みのことについて話し合いました。夏休みが近づいてきたなあ実感しました。

## 4年生 校外学習

7月9日（金）。4年生は校外学習に行きました。目的地は、満濃池森林公園です。前日は警報が出るくらいの大雨でした。お天気を心配していましたが、あいにくの雨の中でしたが、2台の大型バスに分かれて乗り込み出発できました。



満濃池では、雨のおかげで、その雨水が満濃池などのため池に貯まるといいうありがたさを、子どもたちに伝えることができましたそうです。



自由時間には、雨も降ったりやんだり、アスレチックなどで遊ぶこともできたそうです。

## 3年生 リコーダー教室

7月9日（金）。5時間目に3年生は、リコーダー教室がありました。講師の先生をお招きして、体育館で実施しました。新型コロナウイルス感染拡大防止には細心の注意を払っての実施でした。

3年生は、毎年、このリコーダー教室を実施しています。講師の先生から、リコーダーの演奏の仕方を教わったり、いろいろな種類のリコーダーを紹介いただいたりして、リコーダーに対する興味・感心や技能を、一段と高められたと思います。



## 「真鍋校長の独り言」その8

### 夏休みの思い出

もうすぐ夏休みですね。今年は、7月21日から8月31日まで、例年どおりの夏休みとなります。まだまだ、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、行動が大きく制限された状態が続いていますが、長い夏休みを楽しく充実したお休みにしてほしいと願っています。

さて、昭和40年代。その頃、私は小学生でした。もちろん、今の子どもたちと同じで夏休みはとても楽しみでした。夏休みと言えば、どこかに旅行に出かけるといったイメージがあるかも知れませんが、私が子どもの頃、旅行するという事は、まずめったにありませんでした。家に自家用車がある家さえ珍しい時代でしたから…。お出かけしても近くの夏祭りか海水浴くらいでした。ついでに言えば、外食なんて、とても贅沢なことで、年に1回あるかないかという時代でした。

ところが、小学校1年生の時の夏休みだけは特別でした。1970年。大阪で万国博覧会があり、そこに家族4人で行くことになったのです。もちろん、家族旅行なんていうのは、贅沢なことで、うちの家では、万国博覧会のことは話題にさえなりませんでした。ところが、農協だったか銀行だったか、何かの景品みたいなのが奇跡的に当たって、うちの家族4人が大阪の万国博覧会に招待されたのです。もちろん、団体旅行です。そして、新幹線はまだ開通していない時代です。大阪まで何時間かかったのでしょうか。覚えていませんが、特急列車に乗って何時間もかかって、生まれて初めて香川県から出た大旅行だったのです。しかも、目的地は、あの万国博覧会。世界中からたくさんのお客様が来る大イベントだったのです。

小学校1年生だった私は、数日前から、「万博、あと何日？あと何日？」と母親に何回も聞いていたそうです。8月だったと思いますが、万博に出発する日の朝、目が覚めたときに父親が、「今日は、とうとう万博の日やで！」と言ってくれたのを今でも覚えています。

ところが、万博のことは、ちっとも覚えていないのです。とにかく長い間並んで、何かを見たという記憶しかなくて、本当に何も覚えていないのです。ただ、暑くて疲れたこと、そして、万博で買った「かき氷」が100円だったこと、それを母親が「このかき氷、100円もするんで！」と言ったのに対して、父親が、「せつかく万博に来たんやから、ええやないか。」と言っていたことくらいしか覚えていないのです。万国博覧会は、多分、小学校1年生の私には高度過ぎて、楽しくなかったのだと思います。ちなみに、この当時の100円は、今の100円とは大きく違います。1970年頃の物の値段を掲載しますので、当時100円のかき氷の値段をどう感じたかを想像してみてください。大学卒の初任給…約3万円、ラーメン1杯…約100円。ちなみに、現在と比較してみましょう。(私が平均的だと思う金額にしています。) 大学卒の初任給…約23万円、ラーメン1杯…約700円。給料やラーメンの値段は、今の7～8分の1といったところなので、単純に考えると、カップに入ったかき氷は、700円～800円といったところでしょうか。物によっては、このような割合にはなっていないので(例えば映画館は、今の2分の1の料金)、単純には言えませんが、感覚的には「かき氷、1個1000円」といった感じだったと思います。

小学校の6年間で、県外への家族旅行をしたのは、これが最初で最後だったと思いますが、見たはずの「太陽の塔」も「月の石」も全く覚えていないのです。

それよりも、夏休みと言えば、扇風機の前で、「アー」と声を出してみたり、井戸水で冷やしたスイカにかぶりついて種の飛ばしっこをしたり、蚊帳の中で「テントみたい」と遊んでみたり、友達と朝から晩まで真っ黒に日焼けするまで外で遊んだり(本当は、午前中は家で宿題や読書をしなさいと先生に言われていたが)、カブトムシに糸を付けて、5円玉を何個引っ張れるか競争したり、庭で線香花火をしたり、渦巻き型の蚊取り線香が燃え尽きる瞬間を見たときと喜んだり、飼い犬のジョンに水をかけてやったり、飼い猫のミーコの後をついて行って涼しい場所を見つけたり、先生に暑中見舞いを書こうとして、なかなか書けなくて、とうとう8月の終わりになってしまったり・・・、そんなことばかり覚えているのです。きっと、その何気ない日常、夏休みの平凡な日々が、今となっては最も大切な思い出になっているのでしょうね。いい夏休みを過ごしてくださいね。